

和歌山の NPO 法人の「トレンド」を探る

わかづく第 245 号では、昨年度実績で和歌山県内の NPO 法人の経済規模は過去最高を更新。前の同じ時期の調査時に比べて総収入は約 12%増加してました。しかし、寄附金や会費収入は減少しているなど、周囲からの支援は減少傾向にあるようです。県内の NPO 法人数もそう変わっていません。いまの県内の NPO 法人のトレンドはどうなっているのでしょうか。

会費収入を得ている団体数	2020 年	2019 年
会費収入額		
1000 万円～	2	3
100～1000 万円	22	20
50～100 万円	10	10
10～50 万円	76	78
～10 万円	99	105
会費収入なし	168	162

2019 年調査の会費収入上位 10 団体の 2020 年調査における会費収入増減率

①スポーツ系	5.6%
②スポーツ系	-19.1%
③スポーツ系	-9.8%
④スポーツ系	5.0%
⑤スポーツ系	-6.5%
⑥スポーツ系	-7.3%
⑦スポーツ系	-8.7%
⑧病患者会	-2.4%
⑨病患者会	3.9%
⑩青少年育成	-18.8%
10 団体合計	-4.2%

○数字は 2019 年の会費収入額順位
団体の主な活動分野を表記していますが、記
載以外の分野に関する活動もおこなっている
団体が複数あります。

今回の調査で、寄附
金収入が減少した法人
を調べてみると、大き
く 2 つのパターンがみ
られました。
1 つは、過去に大型
の寄附を受け、その反
動減となったもの。事
業をおこなうための施
設等の譲渡を受けた際
には大きな寄附金額が
計上されますが、譲渡
が完了すればその反動
で寄附金収入額が大幅
に減少します。県内
でもこのケースがみら
れました。

2 つめは計上科目の
変更です。それまで寄
附金に準じて記載して
いた収入を、補助金や
助成金と同様の形で会
計処理するように変更
したため、寄附金収入
としては減少となっ
てきました。

しかしここ最近、和
歌山県内では再び N P
O 法人数が増加傾向に
転じています。N P O
法人を所管する和歌山
県庁県民活動団体系に
よると、今年 4 月から
の半年間に新設された
N P O 法人の数は、す
でに昨年度の 1 年に新

設された N P O 法人
に匹敵しています。
N P O 法人の各種相
談を受け付けている和
歌山県 N P O サポート
センターでも、N P O
法人の設立に関する相
談が昨年度より大幅に
増加しています。

この 8 年で N P O 法
人数は約 20 増加してい
ますが、農山漁村・中
山間地域の振興、観光
の振興を掲げる団体が
50 団体前後も増加して
いるのが特徴的。この
2 つは 8 年前に新たに
N P O 法人の活動分野
に加わったもので、こ
こ数年各自自治体で「地
方創生戦略」が進めら
れたことが急増の背景
にありそうです。

一方、科学技術の振
興、消費者保護、国際
協力といった分野は伸
び悩みがみられ、県内
N P O 法人の活動分野
に偏りが見えはじめて
いるようです。
なお県内 N P O 法人
が掲げる活動分野の
トップは「健康・医療・
福祉」で、これはここ
数年変わっていません。

ケースがあり
ました。
したがって、
寄附金額とし
ては大幅に減
少しています
が、他の科目
で補われてい
る団体も少な
くなく、今回
の調査につい
ては「寄附金
収入減少」は
それほど大きな影響に
はなっていないとみて
よさそうです。

一方、昨年の調査で
会費収入上位 10 団体と
なった団体について
今年の調査の会費収入
額の増減率を算出しま
すと、7 団体で減少
トータルでも 4・2%
の減少となりました。
会費収入は「地域ス
ポーツクラブ」を運営
する団体で多くなる傾
向がみられます。ス
ポーツ系団体には月会
費制のところがあり、
今年 2 月から年度末に
かけて新型コロナウイルス
感染症の影響で活
動中止を余儀なくされ
た結果、会費収入が減
少した可能性が考えら
れます。

解散の増加と
新設の増加
N P O 法人制度が
きて 20 年が経過し、全
国で N P O 法人の解散
が増加しています。和
歌山県内でも近年、N
P O 法人の解散が増加
傾向にあります。N P
O 法人の新規設立数と
解散数がほぼ同じで、
県内の N P O 法人の総
数としては 3 8 0 法人
台をいったりきたりし
ています。

なぜ N P O 法人新設
の動きが再び活発に
なったのかははっきり
した理由はわかりませ
んが、シニア層の社会
貢献意識が高まって
いることが影響してい
るのが一因ではないかと
みられます。

定められている 20 の活
動分野のなかから活動
する分野を選択する必
要があります。右のグ
ラフは 8 年前と今年の
調査で、活動分野とし
て掲げている団体数の
比較をおこなったもの
です。

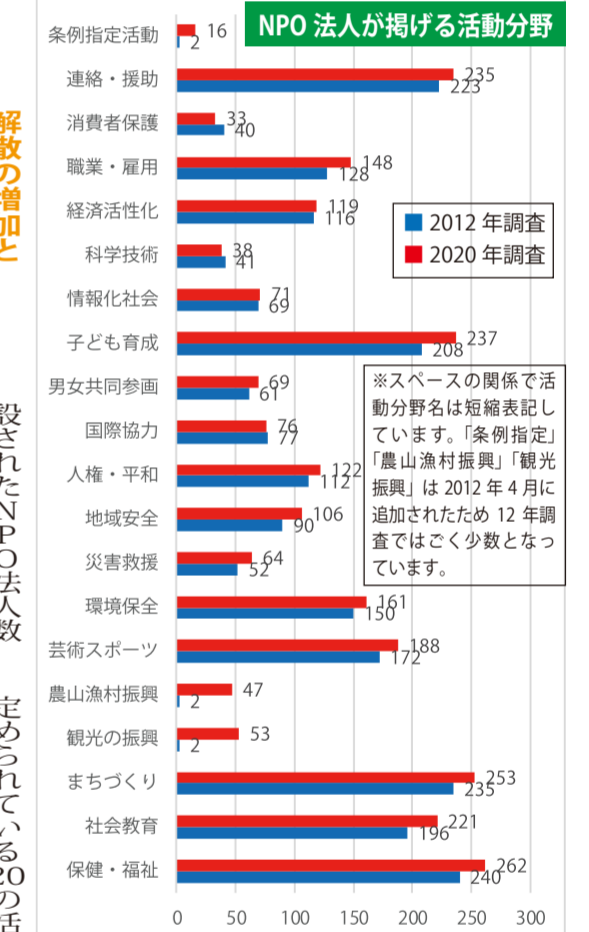
第 2 4 5 号で紹介し
た、県内 N P O 法人の
収入分析のなかで、寄
附金総収入が前年比約
6 千万円の減少、会費
総収入も前年比約 1 8
0 万円の減少となっ
ていました。これにつ
いて、詳細に分析して
みました。

寄附金・会費収入の
減少の実態
ケースがあり
ました。
したがって、
寄附金額とし
ては大幅に減
少しています
が、他の科目
で補われてい
る団体も少な
くなく、今回
の調査につい
ては「寄附金
収入減少」は
それほど大きな影響に
はなっていないとみて
よさそうです。

解散の増加と
新設の増加
N P O 法人制度が
きて 20 年が経過し、全
国で N P O 法人の解散
が増加しています。和
歌山県内でも近年、N
P O 法人の解散が増加
傾向にあります。N P
O 法人の新規設立数と
解散数がほぼ同じで、
県内の N P O 法人の総
数としては 3 8 0 法人
台をいったりきたりし
ています。

なぜ N P O 法人新設
の動きが再び活発に
なったのかははっきり
した理由はわかりませ
んが、シニア層の社会
貢献意識が高まって
いることが影響してい
るのが一因ではないかと
みられます。

定められている 20 の活
動分野のなかから活動
する分野を選択する必
要があります。右のグ
ラフは 8 年前と今年の
調査で、活動分野とし
て掲げている団体数の
比較をおこなったもの
です。



今回の「わかづく」は
和歌山ではお手玉のことを「ななこ」と呼ぶのだそう
です。お手玉の魅力を広める活動をおこなっている団
体の活動をご紹介します。
今回の「わかづく」は 11 月 6 日付の予定です。

花王ハートポケット倶楽部 × わかやま NPO センター

和歌山地域貢献活動応援基金 “わかやまいきいきファンド” 助成団体を募集しています

【和歌山地域貢献活動応援基金とは】

花王グループ社員のみなさんによる社会的支援を目的としたクラブ組織「花王ハートポケット倶楽部（※）」会員の皆様のご寄付を原資に、元気な和歌山を作る NPO（NPO 法人・市民活動団体・ボランティアグループ等）に対し、企業と県民が協働して街づくりの推進を図ることを目的とした助成を行います。
※毎月の給与から 1 口 50 円、1 口～100 口の任意の金額を積み立てられています

【助成対象】

- 以下の 2 つの部門があります。
- スタートアップ支援事業：活動を開始して 2 年未満の団体。
- パワーアップ支援事業：活動を開始して 2 年以上経過した団体。
- 活動開始日が 2018 年 11 月 18 日以降がスタートアップ支援事業、2018 年 11 月 17 日以前がパワーアップ支援事業の対象となります。
- ◆両事業共通事項
 - ・和歌山県内で活動する NPO（法人格は問いません）であること。
 - ・地域コミュニティに主体的に関わる事業であること。
 - ・2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の間に行われる事業であること。
 - ・団体内部の研修のように地域住民のみなさんが参加できない事業は対象になりません。
 - ・前年度採択された団体は、連続して同種類の助成金への申請はできません。
 - ・前年度スタートアップ支援事業に採択された団体が、今年度はパワーアッ

プ支援事業に申請することは可能です。
・1 団体よりの重複した申請はできません。

【助成金額・団体数】

- スタートアップ支援事業：1 助成 5 万円（4 団体）
- パワーアップ支援事業：1 助成 10 万円（3 団体） 助成総額 50 万円

【応募方法】

申請書類に必要事項を記入のうえ、わかやま NPO センターまで、郵送または FAX またはメールにてお届けください。
なお、団体の情報開示の状況も審査対象になりますので、ウェブサイトやブログ、Facebook ページ等の URL があれば必ずご記入ください。
申請用紙は特設サイトからダウンロードできます。
<http://www.wnc.jp/kao/index.htm>

【締 切】 2020 年 11 月 17 日（火）消印有効

【選考方法】

- 第 1 次審査（書類選考）
実施主体が設ける選考委員会で審議します。
- 第 2 次審査（投票選考）
花王ハートポケット倶楽部に参加している社員に、応募申請書を公開し、投票で採択団体を決定します。

※必要に応じ助成申請者に対し提出資料の追加を求めたり、訪問調査を行うことがあります。
※審査結果は 2020 年 1 月下旬頃に書面で通知する予定です。

【助成金の交付について】

2021 年 2 月～3 月頃に採択団体を対象に助成金贈呈式を開催します（会場は未定ですが、遠方の方には規定により旅費の一部を負担します）。
なお、新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては中止またはオンラインでの開催の可能性があります。
その後、団体口座に銀行振込により交付します（個人口座には振込できませんのでご注意ください）。

【活動の報告について】

助成を受けた団体は、助成を受けた活動の様子をブログもしくは Facebook ページ等で随時掲載してください。事業終了後、活動報告・決算報告の作成・提出が必要です（様式は採択後案内されます）。

【助成申請先】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL:073-424-2223 FAX:073-423-8355 E-mail info@wnc.jp
（事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます）

【助成に関する相談窓口】

和歌山県 NPO サポートセンター
〒640-8319 和歌山市手平 2 丁目 1-2 和歌山ビッグ愛 9 階
TEL:073-435-5424 FAX:073-435-5425
E-mail info@wakayama-npo.jp